

やけのしょうがっこうこうちゅうしつ  
焼野小学校校長室だより



はっこうにん 発行人

みや わき けい いち 宮脇 敬市

平成27年6月29日



輝け！

# かがやけのっこ

焼野っこ いいね

や さしく  
け んこうて  
の びのびと



第 3 号

## はきものを揃える！おもしやりの心！

せんじつ 先日、トイレの入口でスリッパが乱れている  
いりぐち なと思って入ると、先にトイレをから出でていつ  
おも はい さき で た男の子がいました。トイレをすませて出ようとしたら、今度はスリッパがきれいに揃っているではありませんか。きっと、さっきの男の子が揃えてくれたんだろうと思って感心しました。次に使う人のことを考えて、人がみてなくとも「だまって、そっと揃える」ことできる人は、とても思いやりのある人だと思います。「はきもの」について、長野市の円福寺の住職である藤本幸邦さんの詩があります。

はきものをそろえると

心もそろう

心がそろうと

はきものもそろう

ぬぐときに そろえておくと

はくときに 心がみだれない

だれかがみだしておいたら

だまって そろえておいてあげよう

そうすればきっと

世界中の人も心もそろうでしょう

ふじもとさちくに  
藤本幸邦



「はきものを揃える」ということは、自分の心を整えて、次に使う人に温かい気持ちを伝えていくことです。みんながお互いのことを思って気持ちがひとつになってくると、スリッパもそろってくるんですね。スリッパだけでなく、教室の前のぞうきんや、玄関のくつも揃って

くるといいですね。

じぶん自分ができたら、クラスのことや、学校全体のことを考えられるようになると、もっとすばらしい焼野小学校になっていきますね。

## 集団だとなぜ急げるの！心の動き！

ある新聞に心の動きを調べる実験が紹介されていました。問題を答えるときに前人の答えに合わせてしまう人が多いのです。たくさんの人のなかではなおさらです。皆と意見が違っていても、周りの人の主張に合わせてしまうのです。人は集団で作業をすると手を抜いてしまい、ひとりあたりの努力が少なくなる傾向にあるそうです。たとえば、授業中の居眠りでも、多くの児童がいるため、なんとなく「責任感」が薄くなりゆるんでしまうようです。焼野小学校では、ひとりひとりの子どもが、自分でしっかり考えて発表や表現をしたり、ペアやグループで活動して責任をもたせて学習することを多く取り入れています。日々の授業の中で、学習成果があらわれるように取り組んでいきたいと考えています。



6月24日、授業づくり研修会の公開授業で発表する場面